**平成30年度　全国民生委員指導者研修会**

**アンケート結果**

|  |  |
| --- | --- |
| アンケート提出数 | 　　112名 |
| 参加者数 | 124名 |
| アンケート回収率 | 90％ |

　　　　　※参加者数内訳：男性：88名、女性：36名、未提出：12名

◆講義・演習

【満足度】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| とても良かった | 61名 | 54.5% |
| 良かった | 39名 | 34.8% |
| 普通 | 9名 | 8.0% |
| 期待ほどではなかった | 1名 | 0.9% |
| 無回答 | 2名 | 1.8% |

【理由等】

○初日の民生委員児童委員活動、生活困窮者自立支援制度等の復習になり、しっかり頭に残った。グループワークの参加者から勇気をいただいた。

○グループでの研修により、他地域での取り組み等聞く事ができ、参考になった。先生の講義もわかりやすく、これからの民生委員活動の要点をつかんで、民児協の運営にいかしていきたい。なり手問題、新任委員への研修等、自分の地域にあった方法を再度検討していきたい。

○各地域の活動の様子や実施している方策等が聞けて良かった。テーマの中に良かった事例、悪かった事例等を盛り込んで討議したかった。

○民生委員の役割「受けとめる事」そして「つなぐ事」の基本を大切に、身近な相談相手になり、必要な場合は関係機関につなぐ。民生委員ひとりが抱え込まず、協働が大切であるという基本を、とても大切に細かく説明いただいて、初心にもどれた。

○全国各地域での諸活動を知る事ができ、大いに参考になった。エコマップは要支援者と各機関の関わり方が理解でき良かった。

○グループワーク6人では討議のまとめの時間が短いため、6人の発表（内容確認）に時間がかかり、まとめる時間がなかった。グループ6人の聞き取り時間を多くとり、地域の取組み状況の把握時間ももっとほしかった。進行のスピードが速いため、内容を深く掘り下げられなかった。

○1日目にしっかり学習している内容の繰り返しは時間がもったいない。グループワークと講師への質問時間がほしかった。（一方通行だったので）

○出席委員の積極的な発表に驚いた。まだまだ頑張れそう。

○困難ケースは相談を受けて、専門機関につなげ連携を図る事。

○グループワークや交流会を通して、様々な特色のある取組みや、苦労話を聞く事が出来た。

○改めて民生委員のあり方、仕事を確認した。時代の流れに応じて地域によって対応の仕方が変化している。グループワークにより、活動強化方策の見える化を体感した。

○事例検討をする事で、見えない部分が見え、いろいろな場面で気づかされ、連携・協働が大切という事を知った。

○新任委員への基本的な活動をきめ細やかにする。各種の研修を受講する事で、委員相互の意思伝達を計る。研修会の内容・実施計画の充実。住民（地域）への周知をする。関係機関との関係づくり。

○各地区皆さんの、なり手確保などいろいろな方法を聞き勉強になった。やはり早めに候補者探しに動き出していく事が必要である。新任委員が活動しやすい環境づくりや各地区発表を聞いて、先輩委員は一緒に活動するなどしている事がわかった。

○先生の考え方が素晴らしい。話された人たちの考えを絶対否定せず、自分の意思を話される。その方式を学ばせていただいた。

◆都道府県・指定都市民児協で実践したい取組み

○なり手不足の問題について、いろいろなイベント等の際のPR活動を、県をあげて実践しければと思った。

○ともすればマンネリ化しやすい定例会を変え、活気のある意見交換の出来る場にしたい。

○地域福祉コーディネーターとの連携強化、社会福祉法人との連絡ネットワーク作り。児相設立の取組み。

○事例集をつくる事。小グループによる定例会。新任委員に対する丁寧な研修。

○人権についての研修の実施。受講者の参加型研修を増やす。ポジティブな民生委員活動をもっとＰＲする。

○民生委員同士のつながり、関係機関、専門職とのつながりを、一層（個人的にも）強めたいと思った。